

け や き

Vol.34

2023.1

発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

真に大切なこととは何だろうか？

みなさん、「ときめく魔法の片づけ」という言葉を耳にされたことはありますか？片付けコンサルタント近藤麻理恵さんこと「こんまり」の片づけメソッドが注目され、メディアで取り上げられた時は、私も挑戦しようと思ったことを覚えています。

先日、そのこんまりさんが「片づけを諦めた！」とメディアで発信されており、とても驚きました。理由として、「片づけを完璧にできている自分を諦めた。片づけを“なりわい”にしている立場なので、家が片付いていることが当たり前だったが、子供を産んだ後は、体力的にも時間的にも、余裕がまったくなくなってしまった。完璧に片付いていること自体が目的・大切なのではなく、家族と幸せに過ごすことが目的。ちょっと散らかっていても、子供たち（1歳・6歳・7歳）と一緒に楽しく過ごす時間が今の自分にとって大切」ということを話されていました。

これに対して教育評論家の尾木直樹氏は、「諦めたっておっしゃっていただけると、ものすごくホッとします。子どもさんにときめきを感じておられるから、ときめきの場所が変わった。僕らも豊かに生きていきたい」と感想を述べられていました。

また、谷原章介氏も「こういう方ご自身が率先して『今はときめくための片づけではなく、家族がときめくための時間をどう作るか』に主眼を置いて…」とコメントされていました。

人生の中で環境やライフスタイルが変わっていくことは当たり前のことですが、こんまりさんは、その変化の中で自分にとっての「ときめき」を素直に見つめられる方なのだと思います。

そして、「諦める」という言葉についてですが、断念・ギブアップなど、マイナスのイメージで使われることが多いと思いますが、漢和辞典では悪い意味は一つもなく、「つまびらかにする・いろいろ観察をまとめて真相をはっきりさせること」と説明されています。さらに仏教では、「真実・真理・悟り」を意味する素晴らしい言葉で、日本語で言うと「明らかにする」に近いそうです。

今回のこんまりさんの「片づけを諦めた」は、「人生のときめき」に対して大切なものは、片づけではなく家族との時間ということを明らかにされています。中途半端な意味での諦めではなく、物事の真実を明らかにした上での諦めとし、目的意識を持った歩みを進めていきたいものです。

ということで、素敵な目的意識を持った企画を片山主任が形にしてくださったので、この後にご紹介いたします。

所長 福田 加奈子

今月のトピックス

「けやきカフェ」で楽しいひと時をいかがでしょうか

今月1月、施設館内に喫茶スペースを設置致しました。この喫茶スペースは当該事業所を利用されるご本人様とご家族をはじめ、地域のボランティア等、既存のつながりは勿論のこと、近隣地域の方や学生、様々な関係者等、新たなつながりのきっかけになることを願い、宝塚市社会福祉協議会善意銀行から一部助成を頂き実施しております。

次のページで実際の喫茶スペースの様子をご覧ください☆





アンティーク調
のディスプレイ
にすてきな雑貨
を発見☆

CAFÉ
community space



「けやきカフェ」



「けやきカフェ」を
のぞいてみよう！



カラフルで可愛ら
しいチェア☆
お好きな色にお
かけください☆



「けやきカフェ」は
第一にあらゆる人と人、人と
資源がつながる場として機能するこ
とを願っています。

ここに沢山のつながりが生まれ、あたたか
な笑顔の光でつまれた素敵な空間とな
りますように。

皆様お気軽にお立ち寄りください。

編集後記

今月号では「けやきカフェ」のご紹介をさせていただきました。「けやきカフェ」が目指す“つながり”は無量大
であると考えています。この施設広報誌「けやき」をお読み下さっている皆様も一つの“つながり”であり、
機会がございましたら是非とも「けやきカフェ」までお立ち寄りください。

主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinisato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

